



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 中国塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4617 URL <https://www.cmp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植竹 正隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 友近 潤二

TEL 03-3506-3951

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	65,470	1.8	2,432		3,069		1,733	
2019年3月期第3四半期	66,659	8.7	42		242	93.4	497	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 44百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 2,624百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.99	
2019年3月期第3四半期	7.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	108,815	63,985	54.5	1,009.18
2019年3月期	113,851	68,514	55.7	1,043.96

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 59,284百万円 2019年3月期 63,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.00		17.00	34.00
2020年3月期		17.00			
2020年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	0.5	3,300		4,000		2,200		36.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	69,068,822 株	2019年3月期	69,068,822 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	10,323,795 株	2019年3月期	8,367,936 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	59,781,232 株	2019年3月期3Q	63,078,545 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境としましては、主力の船舶用塗料分野において、中国や韓国を中心に新造船市場の需要が回復し、修繕船市場においても船舶燃料のSOx(硫黄酸化物)規制強化に伴う入渠増加等を背景に各国で堅調に推移しました。工業用塗料分野においては、東南アジアを中心として主に重防食分野の需要が堅調に推移した一方で、国内ではやや頭打ちの傾向が見られます。コンテナ用塗料分野においては、中国で価格競争が一段と激化するとともに、需要も大幅に落ち込んでおり、依然として厳しい市況が継続しています。

このような経営環境の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は65,470百万円(前年同期比1.8%減)となりました。利益面については、主要原材料価格が軟化基調で推移する中、原価低減や各種経費の削減に向けた施策を進めたことに加え、販売価格の適正化等に努めたことなどから、営業利益2,432百万円(前年同期は42百万円の営業損失)、経常利益3,069百万円(前年同期は242百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,733百万円(前年同期は497百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

主力の船舶用塗料分野において、修繕船向けの販売が堅調に推移した一方、工業用塗料の販売が建材分野を中心に低調に推移したことから、売上高は26,720百万円(前年同期比1.6%増)となりました。原材料価格が軟化基調の中、原材料調達手法の見直しや経費削減、販売価格の適正化等に努めたことにより、セグメント利益は前年同期に比べ1,133百万円増益の1,187百万円(前年同期はセグメント利益53百万円)となりました。

② 中国

船舶用塗料において、新造船向けの販売が大幅に伸長したものの、コンテナ用塗料の販売が価格競争の激化に伴う受注抑制や需要減により大幅に減少したことから、売上高は13,762百万円(同24.4%減)となりました。各種コスト削減や原価低減に努めたものの、コンテナ用塗料の売上縮小と価格競争激化による採算悪化が影響し、セグメント損失は前年同期に比べ212百万円減益の875百万円(前年同期はセグメント損失663百万円)となりました。

③ 韓国

船舶用塗料において、新造船向けの販売が好調に推移したことから、売上高は5,277百万円(同41.1%増)となりました。原材料価格が軟化基調であることに加え、原材料調達方法の見直し等により採算性が改善し、セグメント利益は前年同期に比べ958百万円増益の78百万円(前年同期はセグメント損失879百万円)となりました。

④ 東南アジア

船舶用塗料においては修繕船向けが、工業用塗料においては重防食分野の販売がそれぞれ伸長したことから、売上高は9,575百万円(同9.4%増)となりました。原価率の低下などにより、セグメント利益は前年同期に比べ450百万円増益の1,335百万円(同50.8%増)となりました。

⑤ 欧州・米国

船舶用塗料において、修繕船向けの販売が好調を維持していることから、売上高は10,135百万円(同4.9%増)となりました。船舶用塗料の受注拡大により営業コストが増加したことから、セグメント損失は前年同期に比べ323百万円減益の747百万円(前年同期はセグメント損失424百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ5,035百万円減少の108,815百万円となりました。

① 資産

流動資産は前連結会計年度末に比べ、4,070百万円減少の75,486百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(4,859百万円)や商品及び製品の増加(384百万円)であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、964百万円減少の33,329百万円となりました。主な要因は、IFRSを採用している海外子会社がIFRS第16号「リース」を適用したこと等による無形固定資産の減少(780百万円)及び有形固定資産の増加(629百万円)のほか、投資有価証券の減少(452百万円)であります。

② 負債

流動負債は前連結会計年度末に比べ、2,054百万円減少の37,010百万円となりました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少(1,115百万円)や1年内返済予定の長期借入金の減少(1,002百万円)であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、1,548百万円増加の7,819百万円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加(992百万円)やIFRSを採用している海外子会社がIFRS第16号「リース」を適用したこと等によるその他の固定負債の増加(458百万円)であります。

③ 純資産

純資産は前連結会計年度末に比べ、4,528百万円減少の63,985百万円となりました。主な減少要因は、為替換算調整勘定の減少(1,920百万円)や自己株式の増加(1,815百万円)であります。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は17,927百万円と前連結会計年度末に比べ2,872百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、508百万円となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益3,038百万円、減価償却費1,645百万円であり、主な減少は、たな卸資産の増減額1,416百万円、売上債権の増減額1,201百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは、1,165百万円となりました。主な増加は、定期預金の払戻による収入12,850百万円であり、主な減少は、定期預金の預入による支出11,052百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、3,992百万円となりました。主な減少は、非支配株主への支払いを含めた配当金の支払額2,200百万円、自己株式の取得による支出1,829百万円です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,209	24,350
受取手形及び売掛金	32,126	32,409
有価証券	204	89
商品及び製品	10,132	10,517
仕掛品	528	487
原材料及び貯蔵品	6,699	7,078
その他	1,504	1,304
貸倒引当金	△849	△751
流動資産合計	79,556	75,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,466	6,708
機械装置及び運搬具（純額）	4,287	3,872
土地	13,130	13,122
その他（純額）	701	2,512
有形固定資産合計	25,586	26,216
無形固定資産		
	1,341	560
投資その他の資産		
投資有価証券	5,368	4,915
退職給付に係る資産	84	88
繰延税金資産	1,224	1,128
その他	2,122	1,733
貸倒引当金	△1,432	△1,314
投資その他の資産合計	7,366	6,552
固定資産合計	34,294	33,329
資産合計	113,851	108,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,219	12,103
短期借入金	18,246	18,456
1年内返済予定の長期借入金	1,012	10
未払金	2,454	2,336
未払法人税等	449	465
賞与引当金	130	277
製品保証引当金	334	264
その他	3,217	3,097
流動負債合計	39,065	37,010
固定負債		
長期借入金	1,722	2,715
長期末払金	119	121
繰延税金負債	57	58
再評価に係る繰延税金負債	2,230	2,230
退職給付に係る負債	1,576	1,668
その他	565	1,024
固定負債合計	6,271	7,819
負債合計	45,337	44,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,626	11,626
資本剰余金	7,793	7,788
利益剰余金	47,286	46,979
自己株式	△6,688	△8,504
株主資本合計	60,017	57,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225	177
土地再評価差額金	3,814	3,814
為替換算調整勘定	△519	△2,439
退職給付に係る調整累計額	△168	△157
その他の包括利益累計額合計	3,352	1,394
非支配株主持分	5,144	4,700
純資産合計	68,514	63,985
負債純資産合計	113,851	108,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	66,659	65,470
売上原価	51,406	47,828
売上総利益	15,252	17,641
販売費及び一般管理費	15,294	15,209
営業利益又は営業損失(△)	△42	2,432
営業外収益		
受取利息	235	248
受取配当金	164	149
受取ロイヤリティー	50	49
技術指導料	62	80
為替差益	11	240
その他	278	258
営業外収益合計	801	1,028
営業外費用		
支払利息	290	306
その他	225	84
営業外費用合計	516	391
経常利益	242	3,069
特別利益		
固定資産売却益	13	6
投資有価証券売却益	23	82
特別利益合計	37	88
特別損失		
固定資産売却損	0	-
投資有価証券売却損	-	24
投資有価証券評価損	-	94
会員権評価損	18	-
特別損失合計	18	119
税金等調整前四半期純利益	261	3,038
法人税、住民税及び事業税	453	838
法人税等調整額	372	86
法人税等合計	826	925
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△564	2,113
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△66	380
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△497	1,733

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△564	2,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△841	△47
為替換算調整勘定	△1,235	△2,032
退職給付に係る調整額	16	11
その他の包括利益合計	△2,060	△2,069
四半期包括利益	△2,624	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,406	△224
非支配株主に係る四半期包括利益	△218	268

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	261	3,038
減価償却費	1,276	1,645
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△209	△80
その他の引当金の増減額 (△は減少)	100	104
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	121	115
受取利息及び受取配当金	△399	△398
支払利息	290	306
為替差損益 (△は益)	68	△3
固定資産除売却損益 (△は益)	△2	△3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23	△57
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	94
売上債権の増減額 (△は増加)	387	△1,201
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,960	△1,416
未払又は未収消費税等の増減額	△235	56
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,406	△728
その他	△181	△357
小計	1,903	1,111
利息及び配当金の受取額	402	409
利息の支払額	△290	△304
法人税等の支払額	△369	△708
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,647	508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,550	△11,052
定期預金の払戻による収入	8,746	12,850
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	8	11
固定資産の取得による支出	△813	△1,088
固定資産の売却による収入	17	8
投資有価証券の取得による支出	△12	△19
投資有価証券の売却による収入	43	365
その他	18	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,541	1,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	738	691
長期借入れによる収入	1,700	500
長期借入金の返済による支出	△1,710	△510
自己株式の売却による収入	23	16
自己株式の取得による支出	△5,000	△1,829
子会社の自己株式の取得による支出	-	△520
配当金の支払額	△2,268	△2,011
非支配株主への配当金の支払額	△361	△189
その他	△3	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,881	△3,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	△430	△554
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,205	△2,872
現金及び現金同等物の期首残高	25,279	20,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,074	17,927

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,972,100株の取得を行いました。主にこの影響により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,815百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が8,504百万円となっております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

IFRSを採用している在外子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、原則として借手としてのすべてのリースについて使用権資産及びリース負債を認識しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において、「有形固定資産」の「その他」が1,627百万円、「流動負債」の「その他」が174百万円及び「固定負債」の「その他」が532百万円増加し、「無形固定資産」が775百万円及び「投資その他の資産」の「その他」が151百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	26,309	18,196	3,740	8,752	9,659	66,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,536	4,335	1,191	2,289	742	11,095
計	28,846	22,531	4,932	11,042	10,401	77,754
セグメント利益又は 損失(△)	53	△663	△879	885	△424	△1,028

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント合計	△1,028
セグメント間取引消去	1,777
全社費用(注)	△791
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△42

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	26,720	13,762	5,277	9,575	10,135	65,470
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,648	4,151	1,885	2,536	777	11,999
計	29,369	17,913	7,162	12,112	10,912	77,470
セグメント利益又は 損失(△)	1,187	△875	78	1,335	△747	978

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント合計	978
セグメント間取引消去	2,297
全社費用(注)	△842
四半期連結損益計算書の営業利益	2,432

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

販売実績

前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	21,067	7,954	3,666	4,744	9,163	46,596
工業用塗料	5,000	817	73	3,522	218	9,632
コンテナ用塗料	—	9,424	—	486	277	10,188
その他	241	—	—	—	—	241
計	26,309	18,196	3,740	8,752	9,659	66,659

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	21,777	10,113	5,139	5,298	9,850	52,179
工業用塗料	4,697	693	137	3,770	158	9,457
コンテナ用塗料	—	2,955	—	506	126	3,588
その他	245	—	—	—	—	245
計	26,720	13,762	5,277	9,575	10,135	65,470

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。